



にじいろレター

No.16



今回は、感染管理看護分野と皮膚・創傷ケア分野の認定看護師からのお知らせです。

感染管理

今回は、何故そうしないといけないのか・・・？を探って行きたいと思います。

Q：脂肪乳剤の輸液ラインは注入開始から24時間以内に交換するのはなぜ？

◆脂肪乳剤中の微生物増殖パターン

ブドウ球菌：48時間以内に著しい増殖は認められない。

グラム陰性桿菌：6～12時間以降に急激に増殖する。

セラチア菌(*Serratia marcescens*) セパシア菌(*Burkholderia cepacia*)

真菌：6～24時間以降で増殖する。

◆微生物汚染の要因となるもの

不適切な取り扱い（バイアルからの分割、注射器や輸液ルートの繰り返し使用）

非衛生的な手技（輸液ラインの準備の際、側管からの薬剤投与の際）

Q：ミキシングする時に、調剤環境の清浄度の維持、手指衛生が必要なのはなぜ？

◆セラチア菌に汚染された輸液の投与による病院感染の報道事例や脂肪乳剤やアミノ酸輸液への芽胞菌の混入事例が数多く報告されている。

◆病棟でのミキシングにおける輸液汚染予防のためのポイント

①投与直前に混合し、作り置きしない。

主な原因微生物：手指由来の表皮ブドウ球菌、バチルス、

環境由来菌としてセラチア菌、黄色ブドウ球菌、緑膿菌、大腸菌

※手指に付着した菌がミキシングの不適切な操作により混入し、**輸液内で増殖**する

②輸液のゴム栓部表面(混注口)は無菌性が保証されていないため**消毒用アルコール綿で消毒**する。

③ミキシング前に**手指衛生、マスク・手袋**を着用する。

※混注口に汚染した手で接触し注射針の刺入とともに輸液に混入し増殖した事例があるため、**手洗いあるいは速乾性手指消毒**を行う。

※唾液などが飛散ないように**マスク**を着用する。

※未滅菌手袋であっても、素手に比べるとはるかに細菌数は少ない

④環境整備

※ミキシング台は流し台の水が飛ばない位置、空調設備からの空気の風が直接かからない位置に置く。(ナースステーション内は空調の風がかからないように調整されている。)

※ミキシング台はミキシング作業以外には使用しない

※ミキシング台は整理整頓、**ミキシング前にアルコールで消毒**を行う。

※ミキシング作業は専任者が行い、作業中に他の作業に携わらない。

“テア(スキンテア)”を紹介します

テアとは裂傷という意味で、**スキンテア**とは、「主として高齢者の四肢に発症する外傷性創傷であり、摩擦単独あるいは摩擦・ずれによって、表皮が真皮から分離（部分層創傷）、または表皮および真皮が下層構造から分離（全層創傷）して生じる」創傷を指します。

この創傷は、「テープ剥離時に、皮膚も剥がれた」「ベッド柵に腕が擦れ、皮膚が裂けた」といった日常のケアや生活の中で起こり得るものの、医療者間でもそれらが「スキンテアである」という認識に乏しく、発症理由・予防法も共有されていません。超高齢社会において、スキンテアは課題となっており、今注目されています。当院でもよくみられる創傷です。今後は、創のアセスメントツール「STAR スキンテア分類システム」に沿って創を分類し、治療法や予防法が確立してくると思います。

STAR スキンテア分類システム



カテゴリー 1a

創縁を（過度に伸展させることなく）正常な解剖学的位置に戻すことができ、皮膚または皮弁の色が蒼白でない、薄黒くない、または黒ずんでいないスキンテア。



カテゴリー 1b

創縁を（過度に伸展させることなく）正常な解剖学的位置に戻すことができ、皮膚または皮弁の色が蒼白、薄黒い、または黒ずんでいるスキンテア。



カテゴリー 2a

創縁を正常な解剖学的位置に戻すことができず、皮膚または皮弁の色が蒼白でない、薄黒くない、または黒ずんでいないスキンテア。



カテゴリー 2b

創縁を正常な解剖学的位置に戻すことができず、皮膚または皮弁の色が蒼白、薄黒い、または黒ずんでいるスキンテア。



カテゴリー 3

皮弁が完全に欠損しているスキンテア。

Skin Tear Audit Research (STAR), Silver Chain Nursing Association and School of Nursing and midwifery, Curtin University of Technology. Revised 4/2/2016

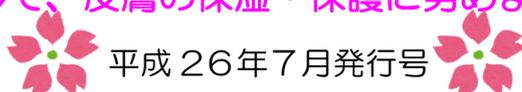
【蒼白な、薄黒い、または黒ずんでいる皮膚または皮弁の色】各患者の「正常な」周囲皮膚に比較した際の表現であり、皮膚または皮弁の活性に影響を与える虚血や血腫の可能性を示す。

【虚血】不適切な組織灌流であり、組織の蒼白さ、薄黒さ、または黒ずみで証明される。

【血腫】皮弁または元の位置に戻した皮膚の下に存在する血液または凝血の貯留。

【元の位置に戻す】皮膚または皮弁を過度に伸展させることなく正常な解剖学的位置に戻すこと。

《 予防策として、皮膚の保湿・保護に努めましょう！ 》



平成26年7月発行号